

まちのくすりやさん 第9号

今回のおはなし

突発性難聴について

ザ・タバコ

Q&A



子どもも発症します

突

発

性

難

聴

突然片方の耳が聞こえなくなる突発性難聴は、大人が疲れなどからなるイメージが強いですが、少数ながら子どもでも発症します。子どもの場合、片耳が聞こえない状態に自分で気が付きにくいからです。治療が遅れると聴力が戻らなくなるため、子どもにも発症するという認識が必要です。突発性難聴は、それまで特段、耳の病気をした事がないような人が突然、耳が聞こえなくなり、数時間で高度の難聴に至ります。片方の耳に起こることが多いそうです。直前にめまいや吐き気、耳鳴りを起こす人もいます。耳の奥の内耳やまれに内耳神経が障害を受ける病気です。



子どもに突発性難聴が起きた場合、大人と違い、耳が聞こえなくなっても、本人に自覚がないことが多いです。

症状は数時間で進みますが、子どもは一对一で話す場合、無意識に聞こえる耳が使って聞くので、片方が聞こえない事に気が付きにくいといえます。ふらつきやめまいが起きる場合等では、いきなり目が回ってどたつと倒れ、親が慌てて病院に連れてくる場合もあるそうです。

子どもから「目が回る」「気持ちが悪い」「耳が何だか変」等の訴えがあれば、突発性難聴の可能性がありま

る。片方が聞こえないと、一对一の会話はできますが、ざわざわした中で耳を澄ます、ということができなくなります。発症した場合、**早期の治療が不可欠**。第一に安静の上、ステロイドの内服や代謝改善剤投与などで治療します。発症後すぐなら聴力が改善する場合がありますが、四週間たつと、難聴状態が固定してしまい、治療効果が期待できなくなります。

夫からの受動喫煙

肺がんリスク 2倍

厚生労働省研究班の調査によると、タバコをすわない女性が夫のタバコの煙を吸う受動喫煙で肺がんにかかるリスクは、夫が喫煙しない場合と比べて二倍に高まることがわかりました。

夫の一日の喫煙量が20本以上だと、リスクはさらに高まると発表されました。

タバコの煙は危ない！！



Q&A

Q：病院に行って処方される薬と市販の薬とどうちがうのですか？

A：医師、歯科医師の処方せんや指示により使われる薬を**医療用医薬品**といい、市販の薬を**一般用医薬品**といいます。

医療用医薬品は、作用や使用方法等の点で医師や薬剤師などの専門家による管理が必要で、医師からの指示を受けずに自分の判断で使用したり、他の人に譲ったりしてはいけません。一般用医薬品は、市販薬、大衆薬、OTC などと呼ばれていて、成分の種類や含有量などの観点から、指示されている用量の範囲では比較的安全とされ、また誰にでも使いやすいように工夫されたものがあります。説明書(添付文書)は必ず読みましょう。



一言メッセージ 今年スギ花粉飛散量が昨年の2倍になるという情報もあります。早めの対策で予防しましょう。

ご意見、ご質問、ご感想など、お気軽にお寄せ下さい。

(社) 浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月~金: 10~15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス yakuura@violin.ocn.ne.jp